

しずおか森の力体験ツアーの開催

3月14日に河津町内で、海と山の両方を学ぶ企画として、しずおか森の力体験ツアーが開催されました。森林には水を貯えたり、山崩れの防止など重要な働きがあり、また、豊かな森から出た養分が川を通じて海に流れ、豊かな海を育むなど、山と海には深いつながりがあることが知られています。今回のツアーは森と海のつながりや、県が森林（もり）づくり県民税を財源として行っている森の力再生事業を学ぶことを目的に開催され、県内の11組28人の参加がありました。

海での漁業体験では、まず伊豆漁協の渡邊氏によるイセエビ刺網の操業風景を陸上から見学した後、揚がってきたイセエビ刺網を広げて、網にかかったサザエの網外しを行ったり、網に絡まった海藻の網外しを体験を行いました。最後に渡邊氏からは、刺網のゴミ外しや修繕が大変なことや、山がだめになると川も海もダメになってしまうことなどの説明を受けました。

森での林業体験では、山を登って森林整備の現場で伐採作業を見学した後、ノコギリやチェーンソーを用いて丸太切りに挑戦しました。体験後、いはずさ林業の山本氏からは、林業は危険な作業が伴うことや、海を守るために山のことを考えていきたいことなどの説明を受けました。

今回のツアーで、参加者の皆さんには、自然の大切さ、山と海の手ながりについてを肌で感じてもらえたと思います。



写真1 網外し体験



写真2 木こり体験

(伊藤 円)